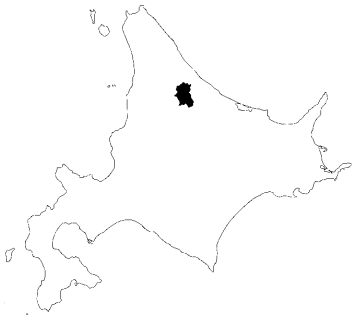
平成２１年度　「新たな公」によるコミュニティ創生支援モデル事業

モデル事業名	体験・滞在型ツーリズム産業創造によるコミュニティ再生事業
対象地域	北海道上川郡下川町
対象地域の概要	 【位置図】 【地域間交流施設】 【体験型資源「万里長城」】
提案内容の概要	農山村地域の豊かな自然や環境、地域資源を活用し、滞在・体験型のツーリズムの創造や都市住民へのＰＲ活動の展開、受入体制の充実を図り、交流人口の増加によるリピーターの確保、二地域居住や移住を促進する活動を実施し、町内でのコミュニティビジネス創出による雇用確保や消費拡大による地域の活性化を目的とする。
提案する活動の内容 （１）地域の課題	下川町は、持続可能な森林経営を目的に森林資源の造成と適正な管理を実施し、循環型の林業経営を確立しており、基幹産業の振興による地域の活性化を図っているが、過疎化の進行している農山村地域において地域を担う人材の確保は重要な課題となっており、地域資源を活用した交流人口の増加や二地域居住、移住促進への取り組みは地域を活性化させるために重要な要素となっている。 しかし、地域資源は豊富に存在するものの、交流産業を支える体験・滞在型のプログラムメニューが確立されておらず、また、都市への情報発信が不足していることから交流が進まない状況にある。 さらに、下川町への訪問者を受け入れる人材や組織が育成されておらず、おもてなしの心を持った対応が困難な状況にある。 このため、本事業を活用し、滞在・体験型ツーリズムの創造や都市住民へのＰＲ活動の展開、受入体制の充実を図り、交流人口の増加によるリピーターの確保、二地域居住や移住を促進する活動を実施し、コミュニティビジネス創出による雇用確保や消費拡大による地域の活性化を目指すものである。
（２）活動内容の案	活動①：体験・滞在型プログラムの開発 内容：下川町では、ＮＰＯ法人森の生活が豊富な森林を背景とした林業体験ツアーや森のアロマツアーを先駆的に実施していることから、これらを核に他の地域資源を活用したプログラム開発を行い、それぞれが連携した体験メニューとして構築し、ビジネスとしての可能性を追求する。 （マイ箸づくり、木工体験、農業体験、農産物加工体験など） また、環境モデル都市に認定され、全国から注目が集まる中、森林バイオマスの先駆的な利活用、ゼロエミッションの木材加工など山村の産業観光としてのプログラムを開発し地域の再生を図る。

	活動② ： 「体験プログラムプロモーション」及び「モニター事業」の実施
	内容 ：開発したプログラムを商品化し、首都圏等でのプロモーション活動を行いモニター事業を実施する。 ① 都市での開催のイベントでのＰＲ、プロモーション活動の展開 ② 広報・宣伝パンフレットの作成 ③ 「モニターツアー」の実施
	活動③ ：下川町もてなし隊育成研修
	内容 ：地域内の宿泊施設、体験メニュー提供事業者、飲食店、住民などで組織する受入を担う「もてなし隊」を設置し、地域でのおもてなしの心も持った対応が可能な人材を育成するための研修を実施する。
応募団体名	下川町もてなし隊育成協議会
リンク	
部局／担当者名	（事務局） 財団法人下川町ふるさと開発振興公社 クラスター推進部 武田浩喜
連絡先	０１６５５－５－２７７０
推薦市町村名	北海道下川町